

△産業宣教 産業人が回復するまことの癒やし (創 6:14)	△レムナント伝道学 レムナントの祈りのやぐら ⑥ ー神のかたち (創 1:27)	△核心 仮庵の祭りと神の国 (創 1:27, 2:7, 2:18)	△散らされた弟子たち 旧約時代の伝道の道しるべ ④ーミツパ運動 (I サム 7:1-15)
□序論 なぜ3 団体、モルモン、ムスリムがアメリカを掌握したのだろう うか。私たちは何を回復すれば良いのか。 □本論 1. エデンの祝福回復 エデンで神様を信じない (神様不信) 事件が生じ、今、ニコ ーエイジ運動で続いて起こっていて、第3 次、第4 次産業革 命を掌握している。 1) 創 1:1-13、創 1:27 神様はみことばであらゆる事を創造さ れて私たちにいのち、創造の力を植えられた 2) 創 2:7 たましいの中にいのちを吹き込まれた 3) 創 2:18 生活の中に神様の力が臨んだ 創 3:15 すべてを回復させることが救いの道。それを分かっ たヨセフ、モーセが出てきた。 創 3:4-5 エデンの祝福を奪われたとき、動機を植えて刺激。 神様と何の関係もなく私が気分が悪かったり、崩れるとき、 自尊心が傷つけられる。これをサタンはよく知っている。 2. 箱舟時代回復 ネフィリム運動が起こり、すべてを掌握。フリーメイソン は、この運動を完全に掌握 創 6:4-5 「あなたが力を受けることができる。あなたに別 の力がある。あなたに別の世界がある」 1) 創 6:14 神様のためでなく、あなたのために 2) 創 6:18 あなたの次世代のために 3) 創 6:20 いのちを保存するために 箱舟 箱舟の中に入った人は生きる。皆さんの産業が箱舟運 動になれば良い。 3. バベルの塔運動を止める回復 暗闇の勢力が団結。ユダヤ人がすべてをとらえて動かす 1) 始まり (創 3:4-5、6:4-5、11:1-8) エデンから始まってノア の洪水、バベルの塔まで 2) 第2 バベルの塔運動 (1) 3 団体 今、第2 のバベルの塔運動が起きている。 100 年が過ぎた今、みな奪われた (2) 産業を掌握 (3) 文化 (学校) を掌握 3) 必ず霊的問題が来るために癒やすことができる機会。後遺 症が来るので、レムナントを育てる □結論 創 3:15 創 6:14 神様のみことばが答えだ。 創 12:1-3 神様がアブラハムを見て出て来なさいと言われた 契約的祝福 正確な契約を握った瞬間から働き 代表的祝福 「あなたによって」 根源的祝福 「あなたは祝福の根源になる」 記念碑的祝福 「あなたの子孫によって」 不可抗力的祝福 「あなたに立ちはだかる者はないようにする」 ネフィリム この団体がネフィリムをして、すべて掌握した I コリ 3:16 答えは聖霊が私に臨まれば良い。私、私の産業が神 殿になれば良い。	□本論 1. 私の中に祈りのやぐらの中のやぐらだ 1) 創 1:27 レムナントは7 やぐらの旅程が 私のいのちの中に臨むように、先に祈 れば良い。 2) 創 2:7 私のたましいの中に 3) 創 2:18 私が現在いる所に、特に、私の 生活の中に臨むように祈れば良い。 2. 現場に 1) 創 3:15 が回復して伝えられる必要がある。 2) 創 6:14 が回復して伝えられる必要がある。 3) 創 12:1-3 3. 生活の中に 1) 正確なみことば (Covenant) が生活の中 で答えとして来る。 2) わざわいを止める道 (Vision) が見える。 3) 24・25・00 (Dream) が成り立つドリーム だ。 4) 創造的能力 (Image) が生じる。 5) 御座の作品 (Practice) が作られる。 △これが CVDIP だ。これをレムナントが持つ ていけば良い。 □序論 これを祈っていれば、あらかじめ見える。あ らかじめ見ると、あらかじめ持つようにな って、あらかじめ持ったら、あらかじめ味わ うようになって、あらかじめ征服、あらかじ め成就する。これがレムナントの答えで祈り だ。 □結論_答えの土台 私たちに起こるすべては答えの土台だ。それ ゆえ、このとおりに祈りのやぐらを建てな さい。すると、レムナントはなぜ祈るとき集中 して、呼吸祈りをする必要があるのか。 脳 - たましい 御座 ー脳を生かす道だ。脳が生かされれば、たま しいが生かされ、脳とたましいが御座とつな がって御座の祝福の中に入る。	□序論_最高の答え 1. キリスト 1) 旧約-キリストを送るという約束 2) 新約-キリストが人となって来られた。 2. キリストによって三位一体の神様の働きを味わうようになる。 3. 神の国のことが成り立つ。 1) ダニ 3:8-24 火の中に入った三人の青年を保護した主の使い 2) ダニ 6:22 獅子の穴に入ったダニエルを保護した主の使い 3) II 列 19:35 ヒゼキヤ王が祈ったその夜に、18 万 5 千を打った主の使い 4) 使 1:11 イエス様の再臨を語った御使い 5) 使 12:1-25 ペテロを助けてヘロデ王を呼んで行った主の使い 4. 約束マタ 12:28-30 神の国 聖霊が臨んでサタン縛られれば神の国が臨ん だのだ。 5. パウロ使 19:8 ー最も重要な時刻表に大胆に神の国について説明したパウ ロ。3 か月間集中してこの背景、祝福を味わった △ものすごい力が五旬節だ。ものすごい答えが神の国である仮庵祭だ。もの すごい創造が過越祭だ。再創造されて出たためだ。私たちの仮庵祭は続く のだ。上では御座の力、下では神の国のことが成り立つことだ。 □本論 1. 始まり 1) 創 1:27 私の中に 2) 創 2:7 私のたましいの中に 3) 創 2:18 私の実際の生活の中に臨むこと 2. 荒野で説明 (出 23:14-17) 1) 出エジプト (過越祭) 2) 荒野で穀物を取り入れたこと (五旬節) 3) 倉庫に貯蔵するほど祝福された神様、御座の力 (仮庵祭) 3. イエス様が完成 1) マタ 6:10、33 神の国が臨むように祈り。神の国とその義とを求めな さい。 2) マタ 10:7 神の国が臨んだと伝えなさい。 3) マタ 28:16-20 天と地のすべての権威、すなわち、御座の力と神の国の ことを成し遂げる地のすべての権威をわたしが持った。 4) 使 1:3 神の国のことを 40 日間説明されたイエス様 5) 使 19:8 大胆に神の国を説明したパウロ □結論_聖書で最も重要な答え 1. 救い 2. 聖霊の力 3. 御座の背景 △これを続けて味わって行くのだ。仮庵の祭りと神の国、最高の祝福だ。皆 さんが礼拝をする中で、癒やされて力が臨むように祈れば良い。	ミツパ運動の一番重要な奥義 は？ 根本原因発見したサムエル 1. ペリシテを止める始まり 1) I サム 1:9-11 (ハンナの 正しい祈り、正確な契約 で始まり) 2) I サム 2:1-10 答えを受け た後、献身および賛美 3) I サム 3:1-19 サムエルが さらに正確な契約を確実 に握るようになる。 2. ミツパ運動の始まり (I サム 7:1-15) ー戦争を止める運動 1) イスラエルの言い訳は答 えられない。 2) サムエルのメッセージ 「あなたがたは、みな主 に立ち返りなさい」「す べての偶像を捨てて。す べての偽りの神々を捨て て、主に立ち返りなさ い」 3) 結果はものすごかった。 3. ペリシテに勝つ次世代-ダビ デ (I サム 17:1-47) を残すよ うになる。 1) お使いに行ったが、主を 侮辱するゴリヤテの話を 聞いて戦いを決心 2) 信仰告白「主は私を獅子 と熊から救われた。神様 を侮辱する者の手から私 を救い出されると信じ る」ものすごい霊的な戦 いだ。 3) ゴリヤテとの対話「おま えは剣と槍、投げ槍を持 って来たが、私はおまえ がそしる万軍の主の御名 によってお前に立ち向か う」

2023 年 11 月 26 日 週間祈りカード

△区域メッセージ (第 48 週)
神殿と 25 の答え (I 歴 29:10-14)

伝道の内容は救いであるが、伝道の最も大きい方法は神殿だ。

□序論

1. 創 3・6・11 章、使 13・16・19、6 運命 12 の問題の中で、最も鍵は偶像神殿だ。ここから本格的に広がって行ったのだ。
2. 幕屋、神殿、教会 幕屋運動、神殿運動、教会運動は重要だ。この祝福を知らなければ、霊的問題時代が来る。
3. 霊的問題時代 今、偶像神殿ではとても多くのことを行うが、霊的問題が来るしかない。

□本論

1. 一生 (羊飼い) - 神殿は祈りによって一生準備をしない。
 - 1) 根本戦争 - 一生を置いてダビデが準備した根本戦争だった。
 - 2) 霊的戦争 - 神殿が偶像神殿かという霊的戦争だ。
 - 3) 次世代戦争 - 次世代を生かす次世代戦争に変わった。
 - 4) メイソン戦争だ。一生を置いて祈りの答えを体験する必要がある。ここに私たちのやぐらが建つように祈りなさい。神様は私たちに向かってすべてのことに光で伝えるようにされる。世界福音化する準備を握りなさい。
2. 目に見えない神殿の祝福
 - 1) 1・3・8 - 24 私たちは 1・3・8 を持って 24 答えを受ける。7 やぐらの旅程がこの中にすべて入っている。24 は 24 時間ではなくて、刻印されてしまったのだ。
 - 2) 御座の祝福が来るのが 25 だ。
 - 3) 時空超越 - 237 - 御座自体が時空超越だ。一生を置いて 237 の答が起こる。
 - 4) 癒やし - 永遠 - 光が臨んで、癒やしの働きが起こる。これが永遠だ。
3. 使命者は、なぜこのようにしなければならないのか
 - 1) 237 準備 - やぐらを建てるのは 237 が来ることができる準備だ。
 - (1) TCK が来ることができる教会
 - (2) RT - 237 の RT が来ることができるようにすることが私たちの使命だ。
 - (3) 人材が来ることができる教会
 - 2) 癒やし - 宣教 - 霊的な病氣、心の病氣、私たちが信じないことも病氣だ、すべて治す必要がある。
 - 3) サミット - システム - 実際に、その人が 7 大旅程を行って、システムを備えて、作るように、やぐらを建てるのだ。

□結論 たましい

この契約が、もう一度私たちのたましいの中に刻印されるようにすれば良い。始まりは私たちの脳に刻印されることだ。すると、御座とつながる。鍵は永遠だ。挑戦しなさい。祈りで始めれば良い。神様はとうていだめだった韓国を世界宣教国家にされた。

△聖日 1 部礼拝
恵みとあわれみと平安 (I テモ 1:1-11)

□序論

1. 24 祈る内容

- 1) 長老 - 1 千やぐらと世界福音化神殿
 - 2) 青年、按手執事 - 金土日時代の主役
 - 3) レムナント - 世界化一つ言語は確かに
2. 24 祈りと重職者の始まり
 - 1) 24 祈り = 刻印、根、体質になること、中毒になったこと
 - 2) 24 祈りで - 25、永遠の答え
 - 3) 重職者の始まり - 7 やぐら、旅程、システム、237、癒やし、サミット、三つの庭、1 千やぐら 24 しなさい。
 3. 24 祈りの理由 - ネフィリム 24 運動を止めるべき
 - 1) 教会、レムナントを生かして伝道運動
 - 2) ニューエイジ、フリーメイソン瞑想運動 24、ムスリム増加
 4. 必ずすべきこと (I テモ 1:2)
 - 1) 信仰の中で真のわが子になったテモテに - 伝道者と牧会者が見るとき、真の家族
 - 2) ありますように - 神様は講壇から主の民を祝福
 - 3) 恵みとあわれみと平安がありますように - 1 千やぐらと神殿を建てることできる道

□本論 恵みとあわれみと平安の福音を伝えなさい

1. 罪の代価の代わりに恵みの福音
 - 1) 救い自体が恵み、信仰は手段神様の賜物
 - 2) 宗教と福音
 - (1) 宗教 - 修行で罪の代価を払う、福音 - 恵み (信仰) で救い
 - (2) 私の力ではできないわざわい、暗闇、サタン、地獄の背景
 - (3) 宗教家が分からない創 3・6・11 章
 - 3) 報いの代わりに恵みを伝える。苦しみにあっている者を訪ねて行って力を (できないので)
 - (1) 創 3:15 女の子孫 (2) 創 6:14 箱舟の中に
 - (3) 出 3:18 血のいけにえをささげに
 - (4) イザ 7:14 インマヌエルの名 (5) マタ 16:16 キリストを
2. 刑罰の代わりにあわれみの福音
 - 1) イエスのみことばと祈り - 赦し
 - 2) イスラエルの法 (1) 大贖罪の日 - すべての人を赦す (2) ヨベルの年 - すべての奴隷を家へ
 - 3) イエス様が来られてされたこと
 - (1) 取税人の家に行き食事 (2) 姦淫の女を赦し
 - (3) 病人だ者を生かされる
3. わざわいの代わりに平安の福音
 - 1) わざわい
 - (1) 始まり - エデンの園、ノアの洪水時代、バベルの塔時代
 - (2) 解決策がなく - 偶像神殿、宗教 (3) 6 運命
 - 2) 彼らに平安の福音を (真の預言者、真の祭司、真の王)
 - 3) 平安の旅程 (カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋、アンティオキア、アジア、マケドニア、ローマ)

□結論

1. 祈りで 7 やぐら - 答え、健康、サミットになる。
 2. 祈りで 7 旅程 - プラットフォーム、見張り台、アンテナ
 3. 祈りで道しるべ - ロマ 16 章の人々
- ※礼拝が終わって深い祈り。重要な答えや質問が出てくる。1 週間を味わいなさい。

△聖日 2 部礼拝
職分を委ねられた理由 (I テモ 1:12-20)

□序論 忠実な者と認めて

1. ローマの人
2. パリサイ人
3. ポジション争いする政治家を使うことはできない。

ガリラヤの人々	パウロ	ロマ 16 章の人々
---------	-----	------------

△神様は福音を伝える人が必要なのだ。神様は皆さんを福音を伝えることができる人として呼ばれたのだ。

確認

- * 人々がわたしをだれだと言うのか
1. 預言者 - 警告する人
 2. バプテスマのヨハネ - 罪を指摘する人
 3. エリヤ - 神秘運動する人
 4. エレミヤ - 涙の人
- 間違ったこと、福音の本質ではない。
- * あなたがたはわたしをだれだと言うのか
- キリスト - あなたは生ける神の子キリストです。あなたは幸いです。このことをあなたに明らかにしたのは、天におられるわたしの父です。この岩の上にわたしの教会を建てます。よみの門もそれに打ち勝つことはできません。あなたに天の御国の鍵を与えます

□本論 紛争時代、霊的問題時代、教会問題時代

このときのために皆さんを呼ばれた。私たちの力ではなく、神様の力によってすることだ。

1. わざわい時代を止める ひとり と呼ばれた。
 - 1) 創 45:1-5 今日 - 小さいことで神様の祝福と答えを見つけること
 - 2) 出 3:18 血のいけにえ、サタン、わざわいが何か知っているだけで良い
 - 3) I サム 1:9-11 うまくいかないことに答えがある。
 - 4) 信仰 - 味わうということが全く同じだったダビデ (羊飼いの時、サムエル、ゴリヤテに会った時)
 - 5) 通じる者三人なら、わざわいを止めることができる (オバデヤ、エリヤ、エリシャ)
 - 6) 契約をそのとおりに握っている人 (バビロン時代)
 - 7) 隠されたこと (世々にわたって隠されていたことを握ったロマ 16 章の人々)
 2. 迫害時代を止める 一つのチーム があるなら良い。使 9:15 そのために選んだ器
 - 1) ピリピ
 - 2) テサロニケ
 - 3) コリント
 - 4) エペソ
 - 5) ローマ
 3. 次世代時代を準備する 0.1% の人ならば良い。
 - 1) ヨハ 19:30 カルバリの丘契約 - 完了した
 - 2) 使 1:3 オリーブ山契約 - 御座の背景
 - 3) 使 2:1-47 マルコの屋上の部屋の契約
 - 4) 使 11:19 アンティオキアの契約
 - 5) 使 3:1-4 アジアに現れた契約
 - 6) 使 16:6-10 マケドニアに現れた契約
 - 7) 使 19:21 ローマ
- 結論 聖書にある答え を受けるべき
1. 長老 - 1 千やぐらと三つの庭
 2. 按手執事 - 金土日時代
 3. 勸士 - 現場タラップ (現場伝道運動)
- △24 すれば良い。脳、たましいの中に刻印されて御座の祝福、力が出てくるしかない。
- 答え - ? 礼拝を終えて祈りを深くしながら答えを見つけるか、そこに对する質問を持って行く必要がある。そういうことが刻印、根、体質になる